

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1.理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>開設時近隣の反対があった為、可能な限り外に出て普通に生活している利用者様の様子を見て頂き、理解してもらえる様、職員一同心掛け、地域に根付き溶け込める様努めている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>毎朝朝礼時全員で唱和する事で、理念を共有し実践に向けて取り組んでいる。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>この地区で暮らしている事を理解してもらえる様に近隣の方と交流がもてるよう取り組んでいる。また玄関に理念を掲示しており、来訪者の目に必ず触れるようにしている</p>	<p>地域に溶け込めるよう、色々な角度から働きかけていきたい。</p>
2.地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>家である事を念頭に置き、隣近所の方々に積極的に挨拶をし・生花を頂いたり・散歩の途中に寄って頂き利用者様と交流をもってもらい、日常的な付き合いをしているが、そうでない方もいる。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>自治会に加入し、廃品回収に参加している。老人会の集まりに会議室を提供はしている。行事の案内ポスターを掲示し、チラシを配布したり、口頭でお誘いしている。地域のボランティアの方々との交流にも努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>民生委員・老人会に会議室を地域高齢者の集まりに利用してもらえる様、声掛けをおこなっている。</p>	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回の第三者評価を真摯に受け止め、速やかに改善に取り組んでいる。</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>現時点では、運営推進会議の話し合いを活かしていない。</p>	<p>地域に根付く取り組みを行い利用者様のサービスの向上に役立てていきたい。</p>
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市との連携（報告・連絡・相談）は、頻繁に行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度について理解している職員とそうでない職員がいる。</p>	<p>社内研修やセンター内研修を行い、全職員が理解し必要な利用者様に活用してもらえる様支援していきたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>会社として法について勉強会の予定はあるが、虐待などはない。今後も利用者様への虐待防止に努めていく。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時管理者は、時間をかけ説明し、質問・疑問等にも懇切丁寧に対応している。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日々利用者様の声を傾聴し、改善し満足してもらえる様取り組んでいる。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会に来られた時、または電話等でも報告を行い、すべての記録に目を通してもらっている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>不満・苦情等があれば速やかに会社に報告を上げ、会社・管理者・職員等で改善に向け話し合い運営に反映させている。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日々の会話や会議などで意見や提案を聞き、反映できるようにしている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>その都度話し合い等を行い、臨機応変に勤務調整している。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職がある際は時期をずらす等し、利用者様への影響を最小限に抑えるよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内・社外研修は、段階に応じて受講している。研修の掲示をおこない、参加者の募集を募っている。助成金制度もある。		
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現時点では、外部からの研修の受け入れは行っているが、交流の機会はほとんどない。		交流する機会を設ける話が進んでいる。交換研修などの話もでていっているので前向きに検討していきたい。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	本所に「なんでも相談室」が開設され悩み事等を相談できる窓口があるが、あまり活用されていない。職員同士で話を聞き合ったり、他センターとの交流を行い親睦を深めるようにしている。		管理者は、現場職員と定期的に話しを聞く機会を設ける。センター内での親睦会等を開催し、ストレス軽減に向けて取り組んでいきたい。
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員個々の勤務状態・努力・実績を把握し、ケアの向上に繋がるような研修の参加を促している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>センターに見学や、入居前に利用者様と交流を持って頂いたり、ご本人・ご家族様と面接を行いコミュニケーションを持つように努めている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>見学や予約後も定期的に連絡を取り話を伺い、ご家族の思いを受け止める様に努めている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談時は、話をよくお聞きし、現時点で利用できるサービスや問い合わせ先などの紹介をおこなっている。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご家族と相談し、入居前に見学や昼食・おやつと一緒に食べて頂く等の時間を作って少しでも場の雰囲気に馴染めるような工夫をしている。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>色々な事を一緒にしたり会話・傾聴し、感情を共有する事により、寄り添い・支えあって共に生活する者としての関係を築いている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>		
29	<p>利用者と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>		
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>マンツーマンで話をしたり、普段の会話の中で一人ひとりの思いを汲み取り、把握するように努めている。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご本人やご家族に話を聞いたりして、これまでの生活環境や暮らし方を把握するよう努めている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>その日その日によって現状が違う為、その時その時に合わせて必要な支援をおこなう様努めている。</p>	
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご家族の希望やご本人の現状・かかりつけ医の意見を参考に職員間で意見を出し合い、介護支援専門員また計画作成担当者により作成している。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>見直し時期や見直しの必要性が生じた場合、介護支援専門員の下話し合いがおこなわれ、現状にあった計画の作成をおこなっている。</p>	<p>見直し期間が過ぎてしまう事もあるので期間を守った見直しをおこなっていく。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を記入し、日々の生活の中で職員は情報を共有し介護計画の基ケアの実践・見直しにあっている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホームのみの施設の為、多機能性はない。		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域のボランティアの方に歌や踊りなどをして頂く機会を設け支援している。		もっと色々な機関と協力し、支援していきたい。
41 他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	介護保険の制度上、他のサービスを利用する事はない。		
42 地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センター主催の勉強会や説明会には、極力参加しているが協働できていない。		包括支援センターと連動していきたいと思う。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居される際には事前にご家族や関連施設よりその人の生活歴・習慣や性格等を聞き全ての職員に周知・把握しその人の生活に大きな変化がないよう留意している。退居の際、ご家族や関連施設等へ連絡やサマリーを用意している。		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	声掛けや対応には細心の注意を払い、記録等の個人情報やプライバシーを損なう様な扱いはしていない。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	出来るだけ利用者様の希望や思いを聞き、自己決定出来る様な声掛けを行っているが、そうでない時もある。		今後も利用者様主体で自己決定の支援をしていく。
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせて、希望に沿って過ごしてもらう様心かけているが、時として職員側のペースになる事もある。		病院への付き添い等が発生した場合、人間的な関係で職員側のペースになる事が事実あるが、基本的にはご利用者様の思いやペースを大切にして過ごしてもらえるよう支援していく。
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	その人らしさを出せる様な身だしなみに心がけ、普段は訪問美容を利用しているが希望があれば美容院に行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者様の好みを聞き、順番にメニューに取り入れられたり、通常は食事の準備や後片付けをしていた。全員で1つの料理をなんらかの形でかわり、自分たちで力を合わせて作った料理を食べる楽しみの支援をおこなっている。</p>		
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>共同生活の為飲み物に関しては出来るが、一人ひとり別々の好みの物を提供する事は出来ていない。但し、好みの物を聞き順番に提供し楽しんでもらえる様支援している。</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>排泄の失敗が少しでも減らせる様に、一人ひとりの排泄パターンや天候や水分摂取を把握し必要に応じて声掛け・誘導を行っている。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>体調管理の元、仲の良い入居者同士また一人でゆっくりを希望される方は一人で(職員は必ず見守り)入浴を楽しんでももらえる様支援している。但し、時間帯は職員の配置上昼間の入浴となっている。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>一人ひとりのその時の体調や状況に応じて昼間に休んでもらったり、安眠して頂けるよう支援している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>負担にならない様、一人ひとりに合った役割(仕事)をして頂いたり、いろいろな事(ゲーム・手芸・園芸等)を一緒に行い、楽しみを共有し支援している。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望される方には自分で持ってもらっているが、紛失の恐れがある為ご家族様との相談の上金額を決め、それ以外の金銭はセンターで預かっている。個人の買い物時は自身で支払を行える支援をしている。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	他の利用者様との兼ね合いや職員の人員配置により一人ひとりの希望にそって毎回外出出来る事は少ないが、天気の良い日は戸外に出て数人～全ユニット入居者様と散歩や日光浴等を行い、なるべく外に出るよう努めている。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族と一緒に日帰りバス旅行の実施。個別にドライブや電車に乗っての外出等の機会を作り支援しているが、一部のご利用者様で全員の個別ケアまで支援できていない。		今後、全の利用者様に個別ケアがおこなえるようにしたい。体制整次第、出身大学訪問予定有。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様宛てに電話がかかってくるすぐにお繋ぎし、希望があれば電話をかけたりしている。手紙のやり取りの支援も行っている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	他の利用者様の迷惑にならない時間であれば、いつでも訪問してもらい、居室やリビング等で過ごしてもらったり、一緒に外出してもらっている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定期間における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はないが、正しく理解しケアに取り組んでいる職員とそうでない職員がいる。職員同士でその場で注意をし合い、身体拘束のないケアに取り組んでいる。		全ての職員が理解し取り組んでいけるよう勉強会をおこなう。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>全ての職員は鍵をかける弊害は理解しているが、玄関は電子ロックでの開閉となっており、職員が管理している。利用者様の徘徊での飛び出しによる事故防止及び不審者侵入防止の為。ご家族様には説明し理解してもらっている。</p>	
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>プライバシーに配慮しつつ安全に生活して頂ける様、常に目配り・気配りを怠らないよう心掛けている。</p>	
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>一人ひとりの状態に応じ、その人らしく生活出来る中で危険な物は預かり、危険防止に取り組んでいる。</p>	
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>事故が起こらないように目配り・気配りを行い、一人ひとりの状態に応じて1つひとつ知識を学んでいる。</p>	
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>マニュアルを掲示している。 定期的に講習会に参加し取得している職員もいるが、全ての職員は行えていない。</p>	<p>全職員が消防署で行われる救急救命講習を受講する。定期的に施設内で看護師による勉強会を行い、全職員が対応出来る様に行きたい。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>職員は市の災害対策の会議等に出席し情報収集に努めたり、定期的に避難訓練等を行い災害に備えている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	状況に応じてリスクが生じてくる際、ご家族にもその事を説明し、対応策を伝え理解してもらえる様心掛けている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	年1回の健康診断。 毎日バイタルチェックを行い、変化や異変などに対応できる様体調管理に努めている。気付いた時点で看護師・他職員に情報を伝え対応し、場合によっては主治医に連絡をとり指示を仰いだり、往診してもらっている。		
74 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は毎日目を通すファイルに薬の情報を挿み、確認・理解している。薬に変更があった場合は、申し送りも行っている。利用者様の状態の変化に応じて施設主治医との連携を図っている。		
75 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	薬だけに頼らず、牛乳・乳酸菌飲料やヨーグルト等を摂取してもらったり、軽い体操をしてもらい便秘にならない様、取り組んでいる		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、一人ひとりに合った口腔ケア(うがい・歯磨き)を支援している。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士がたてた献立で食事を提供している。職員は食事量・水分量を記録し把握した上で、一人ひとりの応じた支援をしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防や対応のマニュアルがある。感染症対に関する対応は本社よりもその都度通達があり、行政関係にも報告を行っている。 外出先からの帰所時や食事前の手洗い・うがいを実行している。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	使用前にまな板・包丁は必ず熱湯消毒をし、夜間ハイター等で消毒したり、使用した食器は食器乾燥機にかけている。食材は、毎日新鮮なものが納品され入居者様に日付を記入してもらい、使用前は日付や賞味期限を確認し管理している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関・建物周辺には花や植木があり、親しみ易い雰囲気作りを心掛けている。 またベンチやテーブルを近隣の方にも利用してもらえるよう設置している。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各ユニットには、季節を感じる作品を入居者様と一緒に作り飾っている。また、花等を活か家庭的な暖かい雰囲気作りに努めている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング以外にもベンチや椅子を置き(季節毎に座布団を換え)、独り又は仲の良いご利用者様同士が思い思いに過ごせるスペースを作っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人好みやご家族と相談しながら、馴染みの使い慣れた家具や写真・手作りの作品を飾り、その人らしい部屋作りをしている。		
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	開設時、近隣との取り決めで窓を開ける事ができないが通気口を開け換気に努めている。温度調整も利用者様に確認し状況・天候に応じて調節を行っている。		理解頂ける様、引続き近隣との良い関係を結び、窓を開ける事が出来るよう施設全体で取り組んで行きたい。(例えば時間を決めたり)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部に段差がほとんど無く、共有スペースには手すりがあり、職員は必要以上の介助をする事の無い中で、安全に生活出来る様にしている。		
86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりが出来る事を見極め、自身で出来る事はしてもらい自信をもって生活が送れる様支援している。		
87 建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダに洗濯物干しを設置し一緒に干したり、ベンチを置き日光浴やプランターに花や野菜を植え園芸を楽しんで頂いている。駐車場でテーブル・椅子を設置し外でのランチ・バーベキュー・焼き芋・餅つきを行ったり、日光浴をしたりと色々な活動が出来る様にしている、		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

職員は常に笑顔が絶えないセンターを目指しています。
利用者様に色々な面で助けて頂き、感謝の気持ちを伝えつつ、五感を働かせ、目配り・気付いて感じて考えて行動出来る様に取り組んでいます。
可能な限り自宅にいる時と同じ生活をして頂ける様支援しています。また入居してしまったから出来ないという事がない様に、例えば毎年ご利用者様・ご家族様・職員との日帰り又は一泊旅行や個別ケアの一環としてご利用者様がご希望される場所に車や電車などを使い一対一又は仲の良い方との外出(ショッピングや食事など)を楽しんで頂く等の計画を立て支援しています。